

政策委員会活動報告

政策委員会

平成30年度政策委員会は、次の事業を行いました。

- | | | | |
|---|-----------------------|-------|--------------------|
| 1 | 技術系学校訪問（高松工芸高校他7校） | 平成30年 | 7月5日から
7月10日まで |
| 2 | 分離発注の陳情活動（県内8市9町） | 平成30年 | 7月23日から
7月31日まで |
| 3 | 応急仮設住宅の建設に関する実務担当者協議会 | | |
| | | 第1回 | 平成30年 7月24日 |
| | | 第2回 | 平成30年11月 8日 |
| | | 第3回 | 平成31年 2月28日 |
| 4 | 高松市との意見交換会 | 平成31年 | 2月 6日 |
| 5 | 五会合同打合せ会議 | 平成31年 | 2月25日 |

○ 主な活動内容

- | | | |
|------------|-------|-------------------|
| 1. 技術系学校訪問 | 平成30年 | 7月5日から
7月10日まで |
|------------|-------|-------------------|

この事業は、国の建設雇用改善推進助成金の対象事業となるもので、当協会をPRすると共に、国が推進する若年労働者の雇用推進にも取り組んでおります。

実施から今年で6年目を迎え、人間関係も段々に充実し学校側からの姿勢も積極的になっており、協会としても会員と学校との橋渡しに積極的に取り組んでいきたいと考えております。

このため、政策委員会を中心としてその対策に取り組み、電気科等のある技術系の学校を委員長、副委員長ほか事務局長らで高松工芸高校、県立高等技術学校、坂出工業高校、多度津高校、観音寺総合高校、香川高等専門学校の高松・詫間キャンパス、志度高等学校を含め8学校を訪問し、協会のPR等を行いました。

また、関連して出前講座を平成31年3月18日に坂出工業高校電気科2年生35名と先生7名を対象に当協会の山地会長が講師として「産業革命を楽しみ・外国人に負けない未来を! 安心して住める郷土を創る 素晴らしい人生を!」をテーマに約1時間の講演をした。

2. 分離発注の陳情活動

平成30年 7月23日から

7月31日まで

前年度に引き続き、今年度から新たに県内を6ブロックに分けて(一社)香川県管工事業協会と共に、県内各市町へ出向き、分離発注の推進と啓発の陳情活動を行いました。

今年度の分離発注の調査結果では、県内8市はすべてが実施となったが、町の一部に未実施の自治体もあり、発注物件等によって取り組み対応が異なっております。

その内訳は、市ではすべての8市が分離発注となったものの、町では「三木町」、「まんのう町」、「直島町」について分離発注とは成らず、発注物件により対応が異なる状況となっております。

いずれにしても各行政とも、基本的に分離発注の取り組みについてご理解を頂いていることから、今後とも根気強く分離発注の推進について陳情活動していく必要があると考えております。

3. 応急仮設住宅の建設に関する実務担当者協議会

第1回 平成30年 7月24日

第2回 平成30年11月 8日

第3回 平成31年 2月28日

香川県建設会館 2階会議室

この会議については、県の住宅課主導の下に、先の東北大震災を教訓として(一社)香川県建設業協会建築部会、(一社)香川県建設業協会、(一社)全国木造建設事業協会香川県支部、(一社)香川県管工事業協会と当協会の5協会と高松市の関係部局が、県内に災害を受け応急仮設住宅を整備する際にどのような行動をすべきかについて県の住宅課と3回にわたり協議を行いました。

当協会からは小川委員長と中塚事務局長が参加し、今年から(一社)全国木造建設事業協会香川県支部や第3回の開催から高松市の関係部局を含めて協議することとなり、「応急仮設住宅の供給に関する基本方針」を見直し内容の概要説明や今年度新たに丸亀の郡家運動広場や高松市の如意輪寺公園を応急仮設住宅の建設候補地とした具体策を検討しました。また、北海道胆振東部地震及び西日本豪雨の応急仮設住宅建設状況等について報告がありました。

4. 高松市との意見交換会

平成31年 2月 6日

高松市役所8階

高松市との意見交換会については、(一社)香川県設備設計事務所協会と(一社)香川県管工事業協会と当協会の3協会が一緒になって、これまで2年に1回のペースで高松市との意見交換会を

実施しています。

高松市からは、森田財政局長他9名の参加で設備設計事務所協会は新居会長他1名、管工事業協会は浦川会長他3名、当協会は山地会長、小川委員長、斉藤副委員長、中塚事務局長の4名で対応しました。

○当協会からの要望事項

- ・工事監理、検査のあり方について(設計事務所に監理業務を任されている場合、決定権限が少ない。)
- ・指名願いの提出方法について(各市町ごとに提出書類が異なるため、統一化を希望)
- ・働き方改革に関連する施策について(高松市での働き方改革についてどのような施策を検討しているのか。)

当協会からは上記の内容について、高松市の取組等について意見交換し、市の担当課からそれぞれについて説明があり、直ちに対応出来るものや今後の対応について丁寧な説明を頂き、和やかな中で終了しました。

5. 五会合同打合せ会議の開催

平成31年 2月 25日

リーガホテルゼスト高松

この会議は香川県立高等技術学校から、当協会の意見を聞きたいとのことから会議を開催したもので、当協会として、どのような意見が出されるのか、前もって協議項目などは出されないことから、山地会長、小川政策委員長、斉藤同副委員長、政策委員4名、事務局2名体制で会議に臨みました。これに対して、学校側から、豊嶋校長、岩部高松校副校長、小林丸亀校副校長、高松校の主席指導員らや県の労働政策課の久米川課長補佐、荻田副主幹を迎えて協議を行いました。

冒頭、豊嶋校長のあいさつの中で同校としての就職の斡旋に際しての企業の意見やどのような人材が要求されるのかなど、学校の今後の方向性を検討する材料として意見交換したいとのことでありました。これに対して山地会長の方から、若年者の入職が低下している中、双方の問題点等に協議したいとのあいさつがありお互いに意見交換を行い、有意義な時間となりました。

